

学校 教育 目標	「わたしも大事 あなたも大事 だれもが主役 みんなでつくる神橋小学校！」 学び合い 高め合い 【知】【体】 つながりあい 【公】【徳】 未来を切り開いていく子ども達 【開】				
	創立 138 周年	学校長 佐々木 希	副校長 角野 義宏	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4
学校 概要	児童生徒数: 559 人 主な関係校: 神大寺小学校・斎藤分小学校・中丸小学校・六角橋中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	六角橋中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>○主体的・対話的な学び合いを通して身につける、生きて働く(活用できる)知識</p> <p>○自己肯定感・自己有用感とともに多様性を認め合う豊かな心</p> <p>○体験・ふれあいを通して育む豊かな感性と、協働的に学ぶ姿勢</p>	<p>六角橋中学校 神大寺小学校 中丸小学校 斎藤分小学校</p>	<p>夢や希望、目標をもてる子どもを育成する。</p> <p>①コミュニケーション能力 ②地域貢献・社会参画 ③自己肯定感</p> <p>・「自分づくり教育」を教科横断的に実施</p> <p>・合同授業研究会を年間2回実施</p> <p>・人権教育推進協議会などの合同の研修会を実施</p> <p>・学家地連などの児童生徒指導に関わる事業を実施</p> <p>・児童生徒交流会などの小中連携事業を実施</p>

中期 取組 目標	<p>◎子ども達一人ひとりを大切にしながら、「ふれ合い・学び合い・高め合い」を大切に、まちとともに歩む学校にする。</p> <p>◎主体的・対話的で深い学びを具現化するため、確かな言語能力を身に付け、自分の考えをもつ力、相手の思いを受け止める力、対話により自分の考えを深化させる力などを育み、生きて働く知識を向上させる。</p> <p>◎インクルーシブ教育の視点で、一人ひとりが自己肯定感、自己有用感をもつとともに、学習の楽しさを実感できる授業を推進する。</p> <p>◎互いの違い、多様性を認め合い、誰もが安心して楽しい学校生活が送れるように、人権教育、特別支援教育の充実を図る。</p> <p>◎ふれあい活動を充実させるとともに、まちの人とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、人やまちを愛する心を育てる。</p>
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
<p><b>知</b> 生きてはたらく知</p> <p>担当 学習・ICT部</p>	<p>①児童が主体的に学べる課題設定や環境を作れるような具体的な授業作りを目指す。そのために、ICTの活用や今までの教材のファイルの整理など、学校全体のデータの整理を行う。</p> <p>②メンター研修やA・B研でのそれぞれの学びをミライムなどを活用して共有できるようにする。</p>
<p><b>徳</b> 豊かな心</p> <p>担当 児童指導部、道徳部</p>	<p>①研修で積み重ねてきた知識やスキルを学年・学級経営に生かしていけるようブラッシュアップする。</p> <p>②だれもが安心して豊かに学校生活を送れるよう互いの違いや多様性を認め合えるような学校風土を人権週間や日常的な取り組みにより作っていく。</p>
<p><b>体</b> 健やかな体</p> <p>担当 保健・安全部</p>	<p>①日々の体育学習の充実を図り、運動を楽しみ、運動に親しむ子の育成を図る。</p> <p>②中休みの30分を生かし、児童委員会活動を通して、食育や保健教育、体力づくりの機会を充実させる。</p>
<p><b>公開</b> 協働的な学び</p> <p>担当 生活・総合部、重点研推進部</p>	<p>①神橋キャストの一覧をどの教科のどの単元で活用していくかを整理する。また、地域とつながる単元や教科を学校側からも提案し、地域の材を活用できる場面を増やす。②今年度もアンケートを実施し、児童の変化に全職員で対応できるようにする。YPの活用をし、子どもたちの協働的な学びの場を設ける。</p>
<p><b>いじめへの対応</b></p> <p>担当 児童指導部</p>	<p>①いじめの未然防止につなげるため、毎月アンケートを実施し、児童の状況把握を行い、些細な変化も見逃さない体制づくりをする。②週に1回の打合せで児童の情報共有をし、組織的対応力を常に高めておく。</p> <p>③基本方針に基づき、保護者・関係機関との連携を推進する。</p>
<p><b>人材育成・組織運営(働き方)</b></p> <p>担当 教務部、メンターチーム</p>	<p>①5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって人材育成のための実践的な校内研修を行っていく。②教務会及び学年主任会の前に、予めミドルリーダー等の意見を吸い上げる機会を積極的に設け、ミドルリーダー等の学校運営への積極的な姿勢を促す。③ICTを活用した事務の効率化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。</p>
<p><b>特別支援教育</b></p> <p>担当 児童指導部</p>	<p>①個に応じた特別支援教育を行うために、外部関係機関との連携や講師を招いての研修を実施していく。</p> <p>②チャレンジルームで個に合わせた指導を充実させ、個の特性を生かした学級経営を図る。③教室、言語環境等においてインクルーシブ教育を理解し、学校全体の環境整備にあたる。</p>
<p><b>児童生徒指導</b></p> <p>担当 児童指導部</p>	<p>①毎週の打合せで児童の様子を共有するだけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用しながら、指導の方向性を共有し、外部機関との連携を図っていく。②教科担任、交換授業を全学年で実施し、担当職員が児童全員に関わりながら指導にあたる。</p>
<p><b>安全教育</b></p> <p>担当 保健・安全部</p>	<p>①避難訓練、防災訓練、不審者対応訓練の実施の度に事前事後指導の内容を精選し、自分の命や安全を、自ら守るための知識や判断力が身につくような指導を充実させる。②交通安全教室、高学年の着衣泳体験、校外学習での歩き方指導など、様々な機会を各学年に合わせて指導内容を明確にし、指導する。</p>
<p><b>地域学校協働活動</b></p> <p>担当 教務部</p>	<p>①六中ブロック学校運営協議会の効果的で円滑な運営に取り組み、地域や保護者に向けて情報を公開する。</p> <p>②地域の歴史、六角橋商店街、岸根公園等を学習に活かし、地域の教育力を活用しながら体験的な学習を充実させるとともに、まちに貢献していこうとする気持ちをもつことができるようにする。</p>